

光市医師会報

平成 13 年 8 ~ 10 月号

No. 346



光市立病院

光市医師会

平成13年8月度定例理事会

日時：平成13年8月8日(水)午後7時半より

場所：光市医師会事務局

議題：

I、報告事項

- (1) 郡市医師会長会議・医師国保通常組合の報告 (前田会長)
- (2) 郡市医救急医療担当理事協議会の報告 (光武理事)

II、協議承認事項

- (1) 会計報告(4~7月)、職員賞与の件 (藤原理事)
- (2) 月例会 (8月、9月)
(前田会長、山本理事)
- (3) 医師会旅行(きらら博) (9/9)
96名参加予定 (梅田理事)
- (4) 末期医療患者のQOL推進事業講習会 (山本理事)
- (5) 徳山環境保健所結核審査協議会委員推薦 (前田会長)
- (6) 周南三市医歯会と健保組合との懇談会 (前田会長)
- (7) 周南地区小児救急医療
(前田会長、光武理事、横山医師)
- (8) その他
 - イ) 周南医学会の演題募集
(前田会長)
 - ロ) 周南地域医療協議会 (光武理事)
 - ハ) 新入会員
 - ①白石先生 (大和病院)
 - ②内藤先生 (光市立病院)

I - (1)

(前田会長)

日時：平成13年7月12日 (木)

場所：山口県医師会館

(1) 平成13年度第1回通常組合会
(山口県医師国保)

承認

- ①平成12年度山口県医師国保組合事業報告
 - i) 被保険者数5130名(平成11年5111名)
○老733名 (14.3%)
介護保険第2号被保険者数(40~60歳)
1821名 (平成13年3月現在)
甲種組合員の平均年齢 60.4歳
 - ii) 保険給付額は減少
70歳未満460,081,887円
(11年488,314,572円)
老人保健489,101,334円
(11年535,055,713円)
・介護保険の影響か
 - iii) 保健事業
健康診断の実施165名 (11年152名)
 - iv) 組合会
通常組合会 年に2回 開催
 - v) 理事会
年に13回 開催
 - vi) 監事会 7月6日
 - vii) 諸会議報告 (全国・中四国連合)

議決

- ②平成12年度山口県医師国民健康保険組合歳入歳出決算
- ③平成12年度山口県医師国民健康保険組合歳計剰余金の処分について
292,350,043円 (過去最高額)
内10,000,000円を給付費等支払準備金とし282,350,043円を翌年度繰越金とす

(2) 郡市医師会長会議

①中国四国医師会連合総会、分科会報告

i) 介護保険

a. 介護申請から要介護認定まで

- ・不備な意見書が多い (島根)
- ・痴呆例の介護認定の困難さ (山口)

b. サービス策定から評価まで

- ・ケアカンファレンスが重要
(主治医とケアマネージャー)

ii) 医療保険・労災、自賠責

高齢者保険、労災自賠責

iii) 地域保険

地域医療、医学経営

②医療廃棄物実態調査の依頼 (7/30必切)

③きらら博救援体制の確保とお礼

④郡市医師会からの要望事項

i) 介護保険のかかりつけ医意見書の請求

及び支払通知の改善について(山口市)

- ・税務上処理が簡便になるよう、国
保診療報酬支払通知書から分離を希望。

(3) 医師連盟会議

- ・参議院選挙公示7/12
- ・武見候補の遊説日程説明
光地区; 7月23日(月) 15:00頃
梅田病院前(武見、藤井、宮坂先生)

I-(2)

(光武理事)

日時:平成13年7月26日

場所:山口県医師会館

地域救急医療について。

*資料は次のページ、

平成13年8月度月例会

日時:平成13年8月28日(火)19:00~

場所:光商工会館2F 青年婦人会議室

内容:

I. 学術講演

「頭痛の診断とプライマリーケア」

講師:宇部興産中央病院脳神経外科

部長 岡村知實 先生



II. 月例会

1) 県下の癌末期患者の緩和医療について 山本理事

2) その他

新入会員のご挨拶が、白石先生(大和病院・内科)よりあった。

日祭日在宅当番医制の状況

平成13年6月：調査実施

医師会名	日祭日在宅当番医制	年間回数	日祭日・当番医制の問題点、特徴
大島郡	全科1	11	地域が広い、近くのかかりつけ医が診療する。あるいは公的病院に頼らざるを得ない。
玖珂郡	全科1	4～8	5町1村の複数自治体に対応 専門外の科への対応に不安
熊毛郡	全科1（夜間）		休日診療後は、在宅で20時まで対応
吉南	内2、外1	7～10	
厚狭郡	全科1	4	
美祿郡	全科1	13	夜間は共立美東病院が対応
阿武郡	全科1（2カ所）	8	地域が広い、近くのかかりつけ医が診療
豊浦郡	全科1（2カ所）	6～7	医師の高齢化に伴うマンパワーの不足
下関市	内4、外2、児1、 産1、眼1、耳1	3～10	産・眼・耳鼻の回数が多い。
宇部市	内1、児1（夜間）	2～6	内・児の日祭日は18時～21時、その他は夜間診療所、小児科は平日夜間診療所
山口市	内・児1、外1	2～5	小児科当番医がない（インフルエンザ流行期に）、 外科の平日は在宅当番医制
萩市	内1、外1、産1、	4～24	24時間体制
徳山市	産1、	11	
防府市	外1、	3	平日・休日の夜間は6病院輪番制
下松市	外1、	5～6	内科系は休日診療所、外科系は在宅当番医制
岩国市	（内・児・外は急 患センター） 産・眼・耳・皮・泌	10～11 2～3	平日夜間（19時～23時）：内2、外1「開業医」 （23時～8時）：内1、外1（医師会病院勤務医） 土曜日夜間（19時～9時）：内2、外2（山大）、 休日（9時～8時）：内2、外2（山大）
小野田市	内1、外1、	1～2	
光市		6	小児科が少ない、外科系として眼・耳鼻・皮が出務
柳井市	内1、外1、	4	高齢化による辞退、休日夜間診療所設立を検討中
長門市	全科1	4～5	眼・耳鼻・児科の時間外受け入れが少ない。
美祿市	全科1	5	眼・婦・泌がない。

Medical Essays

北海道宗谷岬のさらに北、サハリン中部に位置し、カナダとの国境に程近い太平洋岸のシアトルに暮らし、白人社会の中で遅しく人生を生きてきた初老の男の顔には異邦人の歴史がいく筋も刻み込まれていた。額を赤らめ、語気を荒くしかけていた彼は突然咽喉をゴクンといわせたさきり、黙りこくって声にならなかつた。そして、その人の好きそうな男の紛れもない日本人の黒い瞳は潤み始め、その潤いはやがて美しくも清らかな一条の光となって丸い鼻眼鏡の奥を輝きながら流れ落ちた。その臉の裏には彼のもう一つの故郷の、茜に染まる安芸の宮島の朱塗りの大鳥居でも浮かんでいたのだろうか。それとも、一時帰国して過ごした瀬戸の段々畑で駆けっこした幼年時代が走馬燈のように脳裏を巡っていたのだろうか。

照明で明るい舞台から大きな和太鼓が、ドロン、ドロン、カラツカラツと打ち鳴らされて響き渡り、浴衣に身を包んだ人々は場内の割れんばかりの手拍子に合わせて盆

踊りを踊っていた。短くはかない高緯度地方の束の間の夏の訪れを楽しむかのように。宴は今まさにたけなわであった。

夏至が近いというのに、ノースウエスト地方の六月は寒くて冷たい。夕暮れともなればオーバーが欲しくなる。季節は初夏とは言っても、夏は、この地方に遅くやつ

て来て、人々に後ろ髪を引かせる間さえ与えず足早に過ぎ去って行く。九時を過ぎてもなお薄明るい白夜の空にアラスカ行きのワシントン州管フェリーの汽笛がブオーブオーと低く長く、そして物悲しく響いて、仏教寺院のガラス窓を悪寒させた。

(光市・武田薬品工業光診療所)



写真2 歓迎会で披露された剣道試技

手の合間には時折爆笑が起こる。彼らは、先祖の地、日本の文化伝統を自分たちの子や孫に伝え、星条旗に忠誠を誓いテレビから流れる合衆国大統領の演説に耳をそばだてる身である今もって、自分の体には流れるのは日本人の熱き血潮なのだ、自分と子孫に言い聞かせようとしているのだろうか。日本人以上の日本人なのだ(写真2)。

彼ら日本からの帰化人たちの大部分は、アメリカ合衆国への移住

後も白人(コーケイジャン)との結婚を嫌ってはいらぬものの、生活

習慣はすっかりアメリカナイズされ、ことにパーティとか会合といった集まりの時には実に楽しく時を過ごす術を心得ているのには、すっかり関心させられる。相手を傷つけず会話がうまい、それに、

人の言葉によく耳を傾ける。聞き上手なのである。それでいて、自分の考えていることはちゃんと話し、わかりやすく聞き手に伝える。話し上手なのである。

「ところで、コメイマさん、あなたあ、どこのっ」

「私は、日本のー」

と答えかけていた私だったが、暫くして、

「はっ、ああ、広島です。広島から来ました」

「おお、広島のっ、広島から来たんさったんのっ。よう来たんさったのう、大変じゃったるうに」

はるばる日本から渡米した一行の中に、たまたま話しかけた一人の男が広島から来たと知るや、初

老のその眼は丸い鼻眼鏡の奥で輝き始めた。そして、一膝乗り出すような姿勢をとった。彼の祖先が日本の、他ならぬ広島県からの移

民なのだろうと感じていた私の考えは間違っただけではなかった。

さらに、彼は立て続けに私に質問を浴びせた。

「安古市(やすふるいち)の吉田さん、あなた知つとりんさらんかいのう」

「えっ、はあ…」

頭の中では日本政府の使節として日本国からアメリカ合衆国へ来たのだという意識しかなかった私は、使節としてこの広大なアメリカ大陸にやって来て広島方言を耳にしようなどとは思っていません、ましてや、広島市北部のあまり馴染みのない小さな地域の名前が出

ようなどとは夢々思っていないかった。返答に詰まっていた私に向かうに矢継ぎ早に言葉を続けた。

「あなた、吉田さんですよのう、安古市のっ」

「ええ、でも、はあ…」

「そうかいのう、知つとりんさらんかいのう、ううん…」

「えっ、私は、日本の、日本の広島県から来たんですが」

「それじゃあ、草津の藤本さん、藤本さんはっ」

「藤本さんですかあ、草津の、さあ」

確かに私は広島県の出身ではあっても、宮島に近い広島市西方の地域など、地名は知ってはいても、私には縁もゆかりもなく、ただそういう答えしか用意できず、ボカシとしてビールも咽喉を通らず、幕の内弁当を味わうこともできず、ただ彼の顔を見つめているだけだった。暫くしてやっと彼の言葉が呑み込め始めた。彼はきつと、親戚か旧知の消息を尋ねたいのだ。

「吉田さんですよのう、安古市の」

「……」

「広島から来たというこの男は安古市も草津も、吉田さんも藤本さんも知らんのか。自分と同じ日本人の、それも広島県人の血が流れているこの若造は、わしの言うことがわからんのか、わしの知人を知らんとは何事か、いま確かに広島から来たと言ったじゃないか」

彼は心の中でそう腹立たしかったに違いなかった。韓皮で言えば

Medical Essays

の空間に朗々と流れ、暫しアメリカの静寂を支配する。お祈りが終わると途端に会場は一変して賑わい、楽しい歓迎の宴となる。そうなるも彼らはもはや日系人ではない。今日も無事で、一日の糧が得られたことを神仏に感謝することを忘れず、それでいて、食生活を社交の場として人生を思う存分楽しむことに秀でた、明るく陽気で、しかも礼儀正しいアメリカンに変するのだ。

幕の内弁当、それにビールが一缶。ローズ米という銘柄のかりフォルニア産米でこしらえた弁当を口に、アメリカ各地に点在する、いわば地酒とでも言うべき醸造工場のビールを味わっていた私の背後から呼び掛ける人があった。

「あんた、ビールをもう一杯飲みなさんらの、のっ」

びっくりして、私は後ろを振り返った。

「お疲れでしょうのう、まあ、もう一杯どうのっ」

やはり、英語訛りの広島弁だ。彼とは無論のこと初対面で、彼の

氏名も何も、私は知らない。彼は日系の二世か三世であろう、じかも先祖は日本の、広島県からの移民であろうという考えが私の脳裏に浮かんだ。彼もまた、私を知っているはずがない。ましてや、私が広島県人であることを知る山もない。こちらの九六人は日本政府の一機関の親善使節として仕事をしにやって来ているのだから、そのおのおのの出身地は全国に及んでいるのだ。

「どうも有り難うございます」

そう言つて、私はビールを使い捨ての透明なプラスチックカップに受け、少し口にした。冷たいほろ苦さがシユワワツと口の中で広がって弾けた。

「とてもおいしいですねえ、これは。オリンピックですかあ」

私は彼の左手の缶の表面の商標に目を凝らしながらそう言った。

「そう、これはオリンピックビールゆうてのっ、ワシントンでできようるんですよ」

また英語訛りの広島弁である。方言もアメリカナイズされると意外にも新鮮に耳に響くものだ。今

し方ローマ字で手書きしておいた私の左胸の名札に目を遣つて彼は、「ほう、コメイマ、コメイマさんですか。で、どういう字を書くんのか」

と尋ねた。私は、聞くも複雑そうに思っても字に書いてみれば単純至極でしよう、と言わんばかりに答えた。

「お米のコメに、今昔のイマです。米と今と書いてコメイマと読みます。どう、単純でしよう」

「おお、ライスナウさんのっ」と、彼は私の名前を即座に英訳して笑った。この人はいったいどの英語塾に行つてゐるんだろう、などという愚かなことを考えはしないで、二人して笑つていた。この種の言葉の戯れは私の名前に関し

ては珍しくも何ともなかったにもかかわらず、今、そう言われて初めて気づきましたと言わんばかりに、

「ライスナウさんとは面白い、私も今、それに気づいたところなんですよ」

と、アメリカ人が驚いた時にするように両腕を左右に大きく広げて

親愛のジェスチャーをしてみせた。しかし、彼の関心は名前にではなく、私という人物のほうにあるようであった。

「ところで、コメイマさん、あんなあ、どこのっ」

と聞いた。異境で、見知らぬ初対面の人から敢から棒に「あんたあ、どこのっ」と聞かれて、最初は何のことか理解しかねていた私は、キョトンとして一瞬返答に詰まっていたが、じきに呑み込めた。私が出身の日本人なのかを彼は知っていたのである。

ワシントン州産のオリンピック入ったプラスチックカップを片手にした二人の会話は続く。

レセプションの会場となった西本願寺の集会場は、料理に舌鼓を打ち、ビールを味わい、賑やかに談笑する三〇〇人でざわめいていた。一方、舞台の上では日本舞踊に琴と尺八の合奏と続き、三味線による日本民謡を披露する人々も現れる。俵神輿が日米两国旗の前で威勢よく舞っている。大きな拍

望郷

米 今 義 夫

「あなた、ビールをもう一杯飲みませんか、のっ」

い、はるか遠い昔、幼い頃に聞き覚えのある広島弁にびっくりして私は振り返った。そばには初老の男が立っていた。やあ、叔父さん、お元気ですかと思わず呼び掛けたくなるような、丸い鼻眼鏡の男が缶ビールを片手に、さあ、コップを空けなさいと、後ろから私を促したのである。

かれこれ二十数年も前のことになるが、筆者は大学の医局員の頃に呉市の海上保安大学の遠洋訓練航海に医務官として派遣され、九五人の海上保安官と寝食を共にしてホノルル経由シアトルまでの太平洋往復航海を体験した。それは筆者にとっては最初の海外旅行でもあった。拙文は当地での日系

人会主催による歓迎晩餐会で体験した実話を記述したものである。

日本政府から派遣された国家的な親善行事の一つでもあったので、私たちが到着するや否や合衆国政府は無難なこと、日系人会から盛大な歓迎を受けた。合衆国政府からは西部劇映画に出てくるような古式ゆかしい西部開拓時代の正装に身を包んで出迎えてくださる方々があり、一方、日系人会は日系人会で、今や世界の大国となった我が先祖の国の親善使節ここに来たれりとはかりに、誇らしく厳かに、そして盛大に歓迎してくださったのである。

歓迎晩餐会は質素ながらこの上なく心のこもったもので、白人社会にあって少数民族として立派に生き、明治維新からおよそ一二〇

年の歴史を築いてきた異邦人たちが先祖の彼の地から来客を迎えるのに相応しいものなのだろう。遠来の賓客を迎えるというより、久しぶりに訪ねて来た遠くの親戚を歓待しているようだ。

宴の場は西本願寺シアトル別院集会所。遙か南の空に目を遣るとカスケード山脈の山頂の万年雪が望まれる。この地の日系人たちが祖国を懐かしんで「タコマ富士」と呼び親しんでいるレーニア山だ(写真1)。目を室内に移して天井を見上げるとバスケットボールの



写真1 白夜のノースウエスト、レーニア山遠景

ゴール板が巻き上げてあり、体育館としても使える、お寺の集会所なのだ。祖国の政府使節を迎えるこの日が来るのを心待ちにしていた日系人たちはおよそ二〇〇人、白人も幾人が目に入る。聞くと、日系人社会はもはや二世や三世の時代は過ぎて四世の時代となりつつあるのだという。

レセプションを催してくださったのは、大部分が中年、初老、そして高齢の日系人たちで、孫たちを連れての楽しい集まりなのである。「元年者」と呼ばれる日本からのアメリカ移民が大海原を渡りこの地に最初の足跡を印した明治元年から一二〇年、東洋の悪魔と言われた祖国を敵に回し、イタリヤ戦線では連合国軍の日系人部隊として志願し全滅に近い悲惨な戦いをした、第二次世界大戦から数えても四〇年になんなんとしているのである。

ざわざわと思ひ勝手にお喋りしていた説教場の三〇〇人は、別院の僧侶による食前のお祈りが始まる前には沈黙に変わった。仏僧によるお祈りと説教が寺院の集会場

平成13年9月度定例理事会

日時：平成13年9月14日(水)午後7時半より

場所：光市医師会事務局

議題：

I. 報告事項

- (1) 光市在宅支援センター運営協議会
(松村副会長)
- (2) 医療安全対策研修会 (藤原理事)
(郡市担当理事協議会)
・月例会にて報告する
- (3) 郡市地域医療計画担当理事協議会
(光武理事)
・第4次山口県保健医療計画など
- (4) 周南地区小児救急協議会
(前田会長、光武理事)
・平成13年8月31日、ホテルサンルート
小児科医師の出務要請
- (5) その他

II. 協議・承認事項

- (1) 月例会 (9月、10月) について
(前田会長、山本理事)
- (2) 「被保険者資格証明書」の交付に
ついて (吉村理事)
- (3) 光市三師会行事について
(前田会長、梅田理事)
・11月16日 金久旅館にて (光医師会引き受け)
- (4) その他
イ、永年勤続の表彰 (梅田理事)
ロ、周南三市役員会
11月16日、光市担当
ハ、休日診療所運営協議会
10月18日、アイパーク
ニ、光市立病院に心療内科のパート
医師がこられる。
ホ、献血の診察医を募集中
ヘ、周南医学会が平成15年光市である。

平成13年9月度月例会

日時：平成13年9月25日(火) 午後7時より

場所：光商工会館2F 大会議室

内容：

I. 研修会

① 医事紛争について -事例報告-

講師 光市医師会理事

藤原邦彦 先生

医事紛争を起こさないために、もしも起
こしてしまったら

・NHKが大切

N -にげない

H -ひらきなおらない

K -かくさない

② 新しい心肺蘇生法ガイドラインG2000

-従来の蘇生法との相違点-

講師 光市立病院 麻酔科

竹中智昭 先生



光 医 師 会 旅 行

H 13 年 9 月 9 日 きらら博



山 口 き ら ら 博 見 学 記 念



山口きらら博見学記念

平成13年10月度定例理事会

日時：平成13年10月10日（水）

場所：光市医師会事務局

午後7時半より

議題：

I. 報告事項

- (1) 郡市医師会会長会議 (9/1)
(前田会長)
- (2) 郡市医介護保険担当理事協議会
(9/27) (河村理事)
- (3) 周南地区医師会懇話会
「徳山」 (9/27) (前田会長)
- (4) 郡市医妊産婦・乳幼児保険担当理事
協議会 (10/4) (梅田理事)
- (5) その他

II. 協議・承認事項

- (1) 周南三市役員会 (11/16)
(前田会長、松村副会長、河村理事)
- (2) 光市三師会親睦会 (11/8)
(前田会長、梅田理事)
- (3) 10月度月例会 (10/23)
(前田会長、山本理)
- (4) 休日診療所運営会議 (10/18)
(前田会長、光武理事)
- (5) リクレーション会計報告について
永年勤続表彰について
(24名表彰) (梅田理事)
- (6) その他

I - (1)

(前田会長)

郡市医師会会長会議

日時：平成13年9月13日(木) 午後3時より

場所：県医師会館 大会議室

協議次項

1. 都道府県医師会会長協議会の報告
8月28日(火) 13年度第2回目の協議会
①医療を取り巻く現況について
②犯罪被害給付制度の拡充を柱とした
改正が本年7月1日より施行されたこと
について(診断書と医療費領収書)
③要望並びに質問として、医師の再就
職情報窓口(全国版)の設置について、
三師会声明について、準看養成施設
廃止と将来の看護職員の需要につい
て、地域医療と国立病院の在り方
について、4県より提出された。
2. 医療廃棄物実態調査について(中間報告)
委託契約日は平成13年4月1日以
降とし、可能な限り県医師会作成の
契約書を使うのが無難。
3. 主治医意見書支払通知書について
平成14年より標準システム導入
4. 診療情報開示のあり方：
紹介状はカルテの一部か否か。精神
疾患とカルテ開示の問題。近日中に、
日医の開示指針が新しく出る。
5. 郡市医師会からの要望事項
県医サーバーの今後の活用について。
(山口)
予防接種法改正(インフルエンザ)に
関して(玖珂)

I - (3)

(前田会長)

周南地区医師会懇話会「徳山」(9/27)



平成13年10月度月例会

日時：平成13年10月23日(火) 午後7時より

場所：光商工会館2F 大会議室

I. 講演会（公開）

—特別講演—

「緩和ケアの現状と将来展望

—癌疼痛治療の進歩—」

講師 山口日赤病院 緩和ケア科

部長 末永和之 先生



II. 月例会（報告・協議）

①介護と医療の給付調整について

担当理事 河村康明先生

②インフルエンザ予防接種について

副会長 松村寿太郎先生

③その他 医政（医療制度改革案に対する県医の意見書提出）について報告

休日診療所運営協議会の報告

医歯会ゴルフコンペ成績

平成13年度光・下松合同コンペ

日時：平成13年10月8日

場所：周南カントリークラブ

氏名	Gross	HC	Net	順位
守友 康則	100	30	70	優勝
新谷 和久	91	20	71	2位
重岡 秀信	101	30	71	3位
下村 明生	88	16	72	4位
原野 有正	101	29	72	5位
石崎 俊郎	110	36	74	6位
日阪 照幸	81	6	75	7位
藤村 朴	91	15	76	8位
松村寿太郎	104	28	76	9位
森本 雄一	90	13	77	10位
野見山正寿	85	8	77	11位
秀浦信太郎	97	20	77	12位
萩野 和彦	91	13	78	13位
兼重 順一	93	15	78	14位
前田 昇一	96	17	79	15位
横山 宏	89	10	79	16位
藤原 敏雄	110	30	80	17位
光武 達夫	92	12	80	18位
森本 博士	90	9	81	19位
市原 義郎	102	20	82	20位
守田 忠正	100	15	85	21位
岡藤 賢	104	19	85	22位
白倉 守	101	16	85	23位
諏訪 高志	100	15	85	24位
明石 和彦	109	21	88	25位
及川 和郎	126	36	90	26位
丸岩 昌文	128	36	92	27位
竹中 昭二	121	24	97	28位

光市立病院50周年記念式典

日時：平成13年10月14日(日) 10時より

場所：光市総合福祉センター

いきいきホール

式典次第

- | | | | |
|--------------------|------------|-------|----|
| 1. 開会のことば | 副院長 | 横山 | 宏 |
| 2. 式辞 | 光市長 | 末岡 | 泰義 |
| 3. 院長挨拶 | 院長 | 濃川 | 正信 |
| 4. 感謝状及び
表彰状の贈呈 | 光市長 | 末岡 | 泰義 |
| | 院長 | 濃川 | 正信 |
| 5. 来賓祝辞 | 山口県知事 | 二井 | 関成 |
| | 参議院議員 | 松岡満寿夫 | |
| | 山口大学医学部長 | | |
| | | 加藤 | 紘 |
| | 山口県病院協会会長 | | |
| | | 西田 | 健一 |
| | 光市医師会長 | | |
| | | 前田 | 昇一 |
| 6. 意見発表 | 個人ボランティア代表 | | |
| | | 福田 | 啓子 |
| | 患者代表 | 佐伯 | 亮二 |
| | 職員代表 | 林起 | 三子 |
| 7. 万歳三唱 | 光市議会議長 | 国広 | 忠司 |
| 8. 閉会のことば | 診療部長 | 山本 | 憲男 |



前田会長 祝 辞

この度、総合病院光市立病院が創立50周年を迎えられたことに、光市医師会会員一同心よりお慶びとお祝いを申し上げます。

「温故知新」と古い諺にもあります様に、過去の歴史をふり返る事は、将来を展望する上で大切な事と思います。

戦後の荒廃の中から復興途上にあつた昭和26年、光市民病院が結核病床64床、一般病床20床の、結核中心の病院として開設され、初代院長に森 昇先生がご就任になられました。院長を中心とした草創期の方々のご苦勞は、想像を越えたものであつたかと思ひます。その後、昭和40年に第二代院長に松前禎太郎先生、昭和51年に本庶正一先生が第三代院長にご就任になり、この頃より、結核病床が減り、一般病床が増加し、その規模も200床の大病院へと発展し、昭和63年第四代院長板垣省三先生により、今の、総合病院光市立病院と改名され、名実ともに充実した総合病院となりました。そして今、半世紀と言う大きな節目を、五代院長濃川正信先生が迎えております。光市の最大の病院として最新の設備と立派なスタッフの揃つた今、市民の厚い信頼と期待をうけて、安心と安全を私共に提供して頂いております。誠に喜ばしく、たのもしき限りであります。

日本は今、いかなる分野も根本から仕組みを変えなければ明日の日本はない、とまで云われています。小泉内閣の「聖域なき改革」の中にあつて、医療も例外ではありません。

WHOの発表によると、日本は世界一の長寿国、乳幼児死亡率の最も低い、健康達成度の総合評価第一位であります。その一方で、各国と比べ日本の医療費は安いことも指摘されています。安い医療費で世界一の健康国となった事、これには、現行の医療制度（皆保険制度）の貢献を否定するこ



とは出来ないと思ひます。しかしながら、超高齢化と少子社会、遺伝子医学をはじめとする医学・医術の急速な進歩等に影響され、国民の医療ニーズも多様化し、現行の医療制度では財政破綻をはじめ綻びが目立つようになり、対応が困難となつてきております。その改革にあたり、各方面の方々の様々な見解の中で財政効率第一主義が大勢を占める中であつて、日本医師会は、改革の目標を、財政的理由から壊されかねない国民皆保険制度と、保険証一枚で、いつでも、誰でも、どこでも医療が平等に受けられるフリー・アクセスの維持と医療の質の維持・向上においており、十分な医療サービスの提供が出来るようにしなければならぬと主張しています。そのためにも、医師は使命感を持って、国民の医療に責任を持ち、人類愛を第一義とした「医道の原点」に戻らねばならないと云つております。

新しい時代に向かつて、医療は大きく変わつていくことでしょう。医療と保健や福祉が一体となつて、21世紀の長寿福祉社会は構成されます。

この地域の医療をリードする光市立病院と微力ながら私共光市医師会が緊密に連携し、少しでも市民の皆様へのニーズに応えられるよう努力をしたいものです。

創立50周年を契機に、総合病院光市立病院のさらなる飛躍と発展を祈念しお祝いのご挨拶と致します。

光医歯会ゴルフコンペ

日時：平成13年10月8日（月）

場所：周南カントリークラブ

氏名	Gross	HC	Net	順位
守友 康則	100	28	72	優勝
藤村 朴	91	9	82	2位
光武 達夫	92	10	82	3位
横山 宏	89	7	82	4位
松村寿太郎	104	22	82	5位
前田 昇一	96	11	85	6位
森本 博士	90	4	86	7位
丸岩 昌文	128	36	92	8位
守田 忠正	100	6	94	9位
及川 和郎	126	36	90	10位
諏訪 高志	101	10	91	11位
竹中 昭二	121	21	100	12位

●●●●● あとがき ●●●●●

ついに合併号になってしまって、申し訳ありません。

(文責 兼清)

発行所	光市医師会
	TEL (0833) 72-2234
発行者	前田昇一
編集者	広報担当
印刷所	光市光井一丁目15番20号 中村印刷株式会社